

## 第43回北信越中学校総合競技大会／長野大会 サッカー競技 感染症予防対策(ガイドライン)

### 実施要項に関わること(会場・競技日程・競技方法・競技規則・参加規程・開会式等)

- ・開会式：開会式は行わない。

### 実施要項に関わらないこと(会場内・練習場所・待機場所・観客等)

- ・会場内：会場出入り口付近・会場内に手指消毒液を設置する。
- ・前日練習場所：会場出入り口付近・会場内に手指消毒液を設置する。
- ・トイレ：各会場の案内の通り
- ・待機場所：他チームとのテントとの距離をとる。(運営側で設置)
- ・入場制限：無制限とする。しかし、感染警戒レベルが4以上になった場合には、入場制限を行う。以下のとおりとする。(※状況によって変更する場合があります)

### 感染警戒レベル4以上の場合 (長野県松本圏域の感染警戒レベル)

- ・北信越大会申込み書に記載してある登録メンバー及び監督・コーチ・マネージャーの計21名まで入場可
- ・荷物運び等のサポート生徒(ベンチ・アップ場には入場不可)：出場校生徒より5名まで入場可
- ・登録メンバー外の生徒の入場は認めるが、マスクをし、声を出しての応援は行わない。
- ・各チーム保護者：**登録選手及び登録外の3年生の家族2名を上限とし入場可**  
(観戦許可シールを配布)
- ・学校関係者：2名まで入場可・ADカードを配布
- ・一般の方の観戦については、レベル3以下と同様です。

### 感染警戒レベル3以下の場合 (長野県松本圏域の感染警戒レベル)

- ・原則無制限とする。ただし、**入場できるのは、試合を行うチーム関係者、大会役員とし、一般方は入場できません。**
- ・応援は拍手のみとし、声を出したり太鼓等鳴り物を使用したりする応援は行わない。

### その他の感染予防策

- 【以下の役員を設置する】
- ・感染対策責任者(MCが兼ねる)を設置する。
- ・感染対策責任者(チーム側)：監督を当該チームの感染対策責任者とする。
- ・保護者ボランティア(チーム側)：各チームに保護者ボランティアの役を設置してもらい、自チーム保護者の代表として、連絡や行動の統率をお願いする。

### 【「体調記録表」及び「学校同行者体調記録表」】

- ・会場への入場者(大会参加)は、北信越大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドラインに従って「体調記録表」、「行動履歴書」を記入する。
- ・「学校同行者体調記録表」：監督は、会場への入場者の「体調記録表」を確認し、「学校同行者体調記録表」を大会を通して、それぞれの当日、会場受付に提出する。
- ・当日の学校関係者・保護者の体調記録表については、試合当日朝、保護者ボランティアが「来場者体調記録表」を回収し、会場受付に提出する。

### 【当日の対応:試合開始直前から試合終了まで】

- ・**控え場所**
  - ①屋内控え場所を使用する場合は、2つの方向の窓を開け、密にならないように利用する。
- ・**Kickoff まで** ※写真撮影等を行う場合は下記の事前に行う
  - ①選手への指示等は全て終了した上で、メンバーチェックを行う。(先発メンバーのみ)  
⇒ 原則として、一旦、ベンチに戻ることはしない。
  - ②チェック終了後、その場で主審・両キャプテンによりコイントスを行う。
  - ③トスの後、ピッチに入り、挨拶は本部に向かって横一列に並び(横との距離も広め)、主審の笛で一礼のみ行う。  
⇒ その他の握手等のセレモニー・審判団や相手チームへの挨拶はしない。円陣を組んでもよい

が、互いに距離をとり、互いに飛沫がかからないよう配慮する。

#### ・**試合中**

- ①倒れた選手に手を貸すことはしない。  
※フェアプレーの観点から声を掛けることは可。命に関わる場合、緊急を要する場合はこの限りではない。
- ②ボトルやタオルを共有しない。
- ③口に含んだ水をピッチに吐かない。ピッチ内でも咳エチケットを守る。
- ④ベンチではマスクを着用し、会話を控える。**ただし、熱中症のリスクがある場合は、会話を控えることを条件に、マスクを外してもよいこととする。**  
※コーチ 1 名がテクニカルエリアに出て指示する場合は、マスクを外すことを可とする。  
※控え選手のアップ時はマスク着用を求めない。  
※交代して戻った選手がすぐにマスク着用が難しい場合は、2m 程度のソーシャルディスタンスを取るよう配慮する。
- ⑥飲水タイムは 1 分以上かけてはいけないことが原則ではあるが、ボトルの共用ができないので、確実に全選手が飲水する時間を確保し、アディショナルタイムに加算する。
- ⑦運営側感染対策責任者(MC)は、ゲーム全体に目を配りつつ、ベンチ内でのマスク対応、ドリンクやタオル等の対応に問題がないかなどを注意する。

#### ・**試合終了時**

- ①終了のホイッスルが鳴った段階で、試合開始時と同様、本部に向かって横一列に並び、主審の笛で一礼のみ行う。←その後のセレモニー・審判団や相手チームベンチへの挨拶は行わず、速やかにチームベンチへ戻る。
- ②会場主任は、両チームベンチの消毒を行う。

#### 【その他】

- ・ベンチ内、控え場所、更衣場所等、可能な限り「三密」となる状況を避けるよう配慮する。
- ・試合後 3 日以内に発熱などの感染・発症が疑われる症状が確認された場合、チーム感染対策責任者は速やかに県の中体連委員長、事務局、理事長にその旨を連絡する。
- ・大会期間中・大会後 14 日以内にチームから「陽性者」「濃厚接触者」が出た場合、チーム感染対策責任者は速やかに県の中体連委員長、事務局、理事長にその旨を連絡する。